

平成22年度 経営協議会学外委員からの主な意見と本学の対応状況

| 経営協議会                 | 学外委員からの意見   | 本学の対応状況   |
|-----------------------|---|---|
| 第1回<br>(平成22年4月26日開催) | <ul style="list-style-type: none"> <li>博士課程の学生募集にあたっては、大学として一体となって取り組むべき。</li> </ul>            | <ul style="list-style-type: none"> <li>すべての博士課程の教育部において10月入学による学生の受け入れ体制を整備したり、生命融合科学教育部において全国で初めて博士課程に身体障害者特別入試による学生を受け入れたりするなど、学生定員の充足に努めている。</li> </ul>  |
| 第2回<br>(平成22年5月25日開催) | <ul style="list-style-type: none"> <li>教員養成について、地域の要望にえているか。</li> </ul>                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>学外有識者を含めた「教員養成の在り方に係る懇談会」を設置し、学長からの諮問を受け検討結果を答申した。</li> </ul>  |
| 第5回<br>(平成22年9月21日開催) | <ul style="list-style-type: none"> <li>富山県内の大学間の連携が充分であるか。共存・共栄できるように地域全体の底上げが必要である。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>県内に所在する高等教育機関の相互の協力により、研究、教育等の連携を推進し、地域社会との繋がりや相互の結びつきを深め、教育研究のさらなる向上に寄与することを目的に富山県大学連携協議会が設置され、様々な事業を実施している。なお、富山県大学連携協議会をさらに発展させた「大学コンソーシアム富山」の設置に向け、平成25年4月を目途に検討が進められている。</li> </ul> |
|                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>富山県の財産である「ヘルン文庫」及び「万葉集」を活用した教育・研究を拡げてはどうか。</li> </ul>    | <ul style="list-style-type: none"> <li>本学人文学部にヘルン・プロジェクトを設置し、研究会等を開催している。</li> <li>従来から、教養教育の授業において「万葉集」を取り上げてきたが、平成20年度から非常勤講師を依頼し授業科目を増やすなど、「万葉集」を活用した教育を行っている。</li> </ul>  |